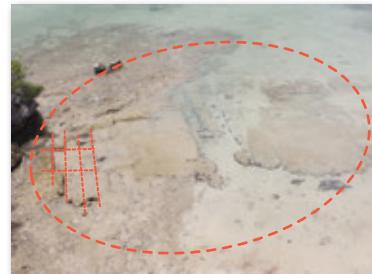


## いじかべつか 石壁などに使われたビーチロック

宮古では現在、島尻の東海岸と大浦の北海岸で石切場が確認されています。石切場とは採石場のことです。島尻と大浦の石切場は海岸部のビーチロックを切り出しています。切り出された石材は建築材料などに使用されました。いまはコンクリートブロックなどに代わり、ほとんど残っていません。



島尻の東海岸（上空より）



大浦の北海岸（上空より）



切り出し途中のビーチロック



石壁などに利用された

### ビーチロック

砂の中で、炭酸カルシウムのセメント作用によって固まった海浜砂岩をビーチロックといいます。沖縄の海岸でよく見られ、軟質で割り取りやすいため、石材としてよく使用されました。



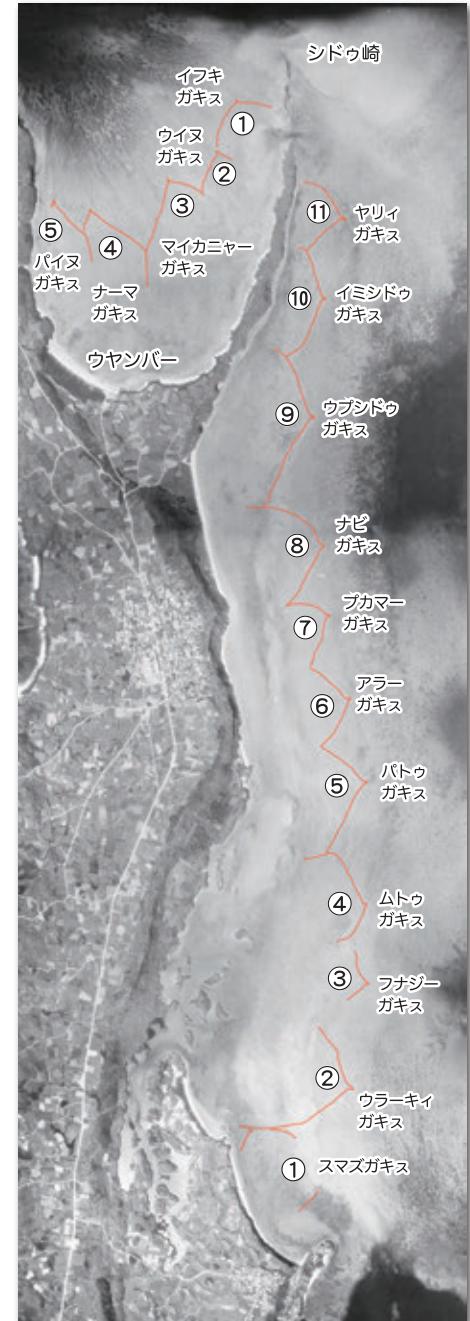
## まだまだある！魚垣

遠浅の海に積み上げられた石垣を「魚垣」といい、魚垣は潮の満ち引きを利用して魚を捕る伝統漁法です。

沖縄方言では、カチ、カキイ、ハシイ、クミなどと呼ばれ、狩猟では「カキス」と呼ばれます。

1960年代は西平安名崎から島尻港周辺までの広い範囲にかけて、16もの巨大な魚垣が形成されていました。新たな漁法の普及によって次第になりましたが、いまでも一部にその名残を見ることができます。

宮古では、伊良部島の魚垣が市の有形民俗文化財として指定されており、間近で観察することができます。



1963年の航空写真から魚垣と思われる形跡をなぞったもの（写真：国土地理院）

さん さく  
散策コース 

しょよう じかん くるま と ほ  
所要時間 :車と歩で  
約1時間 (約14km)

[View Details](#)

Map of Miyako Island, Okinawa, highlighting various landmarks and routes. Key points include:

- Top Left: パナガーラー領の海軍砲台・トーチカ (Panagara's naval gun battery site) - みね かいくんぼうたい (P28)
- Top Center: 『与那霸勢頭豊見親』 (Okinawa Prefecture Head Tomihito Tomiyoshi) - よなはせどともひゆ (碑)
- Top Right: 高野漁港 (Takano Fishing Port) - たかのぎょこう
- Middle Left: 広瀬尾神崎 (Watanabe Shrine) - ひっし う がんざき
- Middle Center: 白川浜 (Shirakawahama Beach) - しらかわはま
- Middle Center: 白川田水源地・貯水池 (White River Water Source Area・Reservoir) - しらかわだいすいひや ちくすいち
- Middle Center: 福山 (Fukuyama) - ふくやま
- Middle Center: 桶畠と山川の2つの集落の名をヒリ、「福山」 (Tobigata and Yamagawa, two settlements whose names were derived from 'Tobigata') - ふくやま
- Middle Center: 大野越排水溝 P63 (Daiyakuei Drainage Ditch) - おおの おき はい すい どり
- Middle Center: 大野越開拓記念塔 (Daiyakuei Colonization Memorial Tower) - おおの ごしかいたく き ねんとう
- Middle Center: 1.8km
- Middle Center: 2.5km
- Middle Center: 3.5km
- Middle Right: 宮古島市熱帯植物園 P64 (Miyako City Tropical Botanical Garden) - みやこじましあいのしまくぶつえん
- Middle Right: 大野山林 P64 (Daiyayama Forest) - おおのさんりん
- Bottom Left: 真佐久與那霸勢頭(ガ)中綱島に行く時無事を祈った (Prayed for safety when traveling to Nakajima Island) - まじやく う がんざき
- Bottom Left: 真謝漁港 (Masakai Fishing Port) - まじやく う がんざき
- Bottom Left: ウイバラガー (Wibaraga) - ウイヌヤマ (Wenuyama) - 志城跡 P57 (Shiki Site) - じじゆ
- Bottom Left: イサガー (Issagara) - オオウラ 大浦 (Oowara Ohura) - ウイヌヤマ (Wenuyama) - 2.2km
- Bottom Left: ジャーガマ P60 (Jagaruma) - ジャーガマ P60
- Bottom Left: ハイカラ跡 (Hikカラ Site) - あと イヌカーハイカラ
- Bottom Left: 石切場 P52 (Ishitsukiba) - いしきりば
- Bottom Left: 大浦湾(ウブラ) (Oobura Bay) - おおうらわん
- Bottom Left: 古特別支援学校 (Old Special Support School) - なきくにいつ くにくわくしづく くにくわくしづく
- Bottom Center: 池間島から (From Imaijima Island) - いけまじま
- Bottom Center: ウス (Usu) - ウス
- Bottom Right: サンシンバナリ (San Shin Banana) - サンシンバナリ
- Bottom Right: 南小浦 (Nankoguchi) - ぱいく うら
- Bottom Right: 北小浦 (Karakoguchi) - にすく うら
- Bottom Right: 成川井 (Narikawa-Imai) - なりかわ いまい
- Bottom Right: 砂山ビーチ (Sand Mountain Beach) - さなやまビーチ
- Right Side: 宮古島市立西辺中学校・西辺小学校 (Miyako City立 Seben Middle School・Seben Elementary School) - みやこじましりつ にしべちゅうがっこう にしべしょうがっこう
- Right Side: 水路 (Waterway) - すいろ
- Right Side: 平良市街地 (Hirayama City Center) - ひららう しけいち
- Right Side: 大主御嶽 P59 (Oimamori Yama) - おおぬめのみやま
- Right Side: 西原 (Nishihara) - にしほら
- Right Side: ナイカニ御嶽 (Naikanii Yama) - ないかにのみやま
- Right Side: 公民館 (Public Hall) - こうみんかん
- Right Side: 集落内 1.2km (Village area 1.2km) - しゆらくない 1.2km
- Right Side: 2.4km
- Top Right: 243 (Route 243) - 243
- Top Right: 宮古島市総合博物館 P65 (Miyako City General Museum) - みやこじましうこうはくぶつかん
- Top Right: 宮古空港 (Miyako Airport) - みやこくうこう

※御嶽に許可なく入ることは禁じられています。

# にし 西辺

おおうら ふくやま にしはら ち いき あた にしべ  
大浦・福山・西原地域の辺りを、「西辺」とも呼びます。これは、この3地域の学区名(通学区域)を指した呼び名です。

ほうげん きた 宮古の方言で北をニスといい、この地域が宮古島の北方に位置することから北辺と呼ばれ、いつしかニスに「西」の漢字がてられ、西辺と呼ばれるようになったといわれています。

## 大浦地域

げんさい よ かいがんちか  
大浦集落は現在より西寄りの海岸近く、ヤスキと呼ばれる地にありましたが、戦に巻き込まれて廃村になったと伝えられています。いつ頃から人が住み始めたかは分かっておらず、村立てと廃村を繰り返し、現在の集落ができました。

『宮古島庶民史』(1957)には、「廃村のうち、1714(康熙 53)年に大浦村が立てられた」と記されています。

その後、近隣集落から住人を寄せ、徐々に栄えていきました。

## 西原地域

めいじ いけまじま じんこうそとか  
1874(明治7)年、池間島の人口増加のため、琉球王府による強制移住計画のもと、池間島の分村として西原村が誕生しました。分村なので「池枝村」としていま



したが、当時の御検使富川親方に隨行した西原親雲が、自分の名を記念に使って欲しいと願い出て、「西原村」と命名されました。西原は池間の風習を色濃く残し、数多くの祭祀を行っています。

## 福山地域

1937(昭和 12)年頃、土地改良事業にともない、棚福・山川・ピンフ・佐事・トウシガの5つの小集落が集まって福山集落が誕生、1964(昭和 39)年に旧大野越集落が新たに加わりました。集落は標高95mのピンフ嶺の麓に広がり、伊良部島まで見渡すことができます。

施設園芸などの農業の盛んな集落として発展しました。

## 大浦多志と大浦集落

大浦集落には、大浦多志と呼ばれる唐人の伝説が伝えられます。『雍正旧記(1727)』に記録される古謡の『唐人渡来のあやぐ』によると、中国から渡ってきて城を築いたことや、嘉手苅村のたまねくろを妻にして、村の主長となつたことなどが記されています。

## 大浦多志関連の史跡・御獄



また、集落には大浦多志が住んでいたとされる城跡や、大浦多志が祀られている御嶽などが存在します。

しかし、大浦多志の子孫が何代続いたのか、誰に滅ぼされたのかなどは、分かりません。

## 移住の決め手になったイーガマとヒダガー



## 拝所

### 大主御嶽(西の御嶽)



西辺コース

西原の大主御嶽は、1874(明治7)年に池間から西原村として分村したことによって、池間と同じ御嶽が建てられました。祭神は「うらせりくためなうの真主」が分祀されています。集落の中で一番格式が高いとされ、数多くある年間祭祀のほとんどがこの御嶽を中心に行われます。

集落にとって大事な御嶽であり、むやみに立ち入ることは禁じられています。



にし はら  
西原のミヤークツツは、旧暦8~9月の甲午から4日間にわたり行われます。ナムイヌウヤと呼ばれる50~56歳の男性が中心となる祭祀です。

2日目にはマスムイのあと、「五穀

ほうじょう はたがしら かか なかま  
豊穣」の旗頭を掲げ、ナイカニ(仲間)御嶽からジャーガマと呼ばれる広場まで、ウヤたちが威勢の良い掛け声でクイチヤーを踊りながら練り歩き、子孫

むら はんえい き がん  
や村の繁栄を祈願します。



にし はら  
西原のユークイは旧暦9月に3日間にわたり行われます。ナムイヌ

よ さい じょせい  
ンマと呼ばれる47~56歳までの女性がユークイに参加します。

うはるす う たき  
ナムイヌンマたちは大主御嶽に籠もり、一睡もせず祈り続けます。

よ あ しろ かみ い しょ き  
夜が明けると、白い神衣装を着て草冠をかぶり、手草を持って集落内の9つの御嶽を巡拝します。御嶽では世(豊穣)を招き入れる所作を伴う世乞いの歌などをうたい、豊年と健康を祈願します。



大浦湾に対比するように、隣に小さな小浦という湾があります。小浦には北小浦、南小浦というふたつの浜があり、南小浦と大崎のバンク山御嶽の間を、大野山林からの湧水が流れています。

ここに生息する生き物を狙って、多くの水鳥が集まっています。



■ ウミガメ産卵地

おお の ごし はい すい こう

## 大野越排水溝(トンネル)



西辺コース

大野越排水溝は大野山林に位置し、1934(昭和9)年に建設された鉄筋コンクリート造りの隧道です。延長640mで欠円アーチ形をしており、東坑口は石造アーチ風にデザインされています。この地域一帯は低湿地で水害が悪く、マラリアを媒介する蚊が多く発生する土地でした。そこで「大野山耕地整理計画」が策定され、開墾基盤の施設として大野越排水溝のトンネルが建設されました。





## 憩いの場だけじゃない 大野山林

### 大野山林

沖縄県は47%  
(2017年林野庁)

大野山林は、森林率が約16%と低い

宮古島にとって重要な森で、210ヘクタールの広さがあります。

この山林は1655(順治12)年、当時の官職にあった下地親雲上恵根によって松の植林が始められました。この頃、島内は建築や船舶用の木材資源が少なく、石垣島から移送していたため、島内で調達できるようにするのが目的でした。

戦前、戦後を通して貴重な森林資源として活用されました。

また、この山林は白川田水源と山川水源の上にあり、水源かん養、防風、防潮などの保安林として指定されています。

現在は野鳥の繁殖地や市民の貴重な憩いの場になっています。

### 宮古島市熱帯植物園

植物園は、1964(昭和39)年に着工され、本州、ハワイ、台湾、東南アジアの各植物園と提携して数多くの樹木を導入し、また沖縄の各島々に原生する植物を集めて植栽しました。

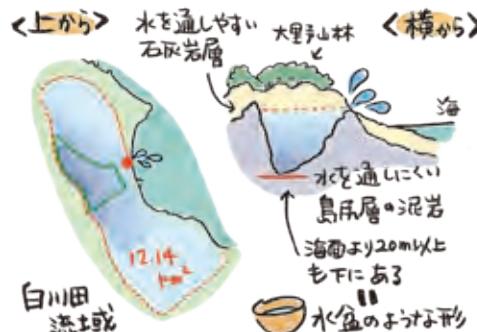
23.8ヘクタールの園内には、ここでしか見られない樹木が育ち、様々な生き物が生息しています。



### 大野山林の下は宮古の大事な飲料水が貯まっている

大野山林一帯の地下は、水を通しにくい島尻層の泥岩が、水盆のような形になっており、貯まった雨水が白川田から湧き出ています。

白川田水源の流域面積は12.14km<sup>2</sup>あり、約700万トンもの地下水を貯めることができ、宮古島市民約5万人の飲料水をほぼまかなっています。



道路

遊歩道・作業道

水路

管理範囲

83

『大野越開拓記念塔』碑

木棚原洞からゾウの化石が

発見されて

いる

このあたりに大野越集落があつた

宮古島市斎苑

白川浜

白川田水源地・貯水池

『与那霸勢頭』

豊見親沖縄島

発見の地』碑

五島アート風

大野越排水溝

高野集落

1961年に大神島、多良間島、水納島などから40戸が入植。「大野越」と呼ばれていたが、同名の集落があったので、「高野」に改称。

棚原洞(竜の家)

県立宮古青少年の家

展望台

宮古島市熱帯植物園

海軍313設営隊の地下壕群

(戦争遺跡編P12)

宮古島市総合博物館

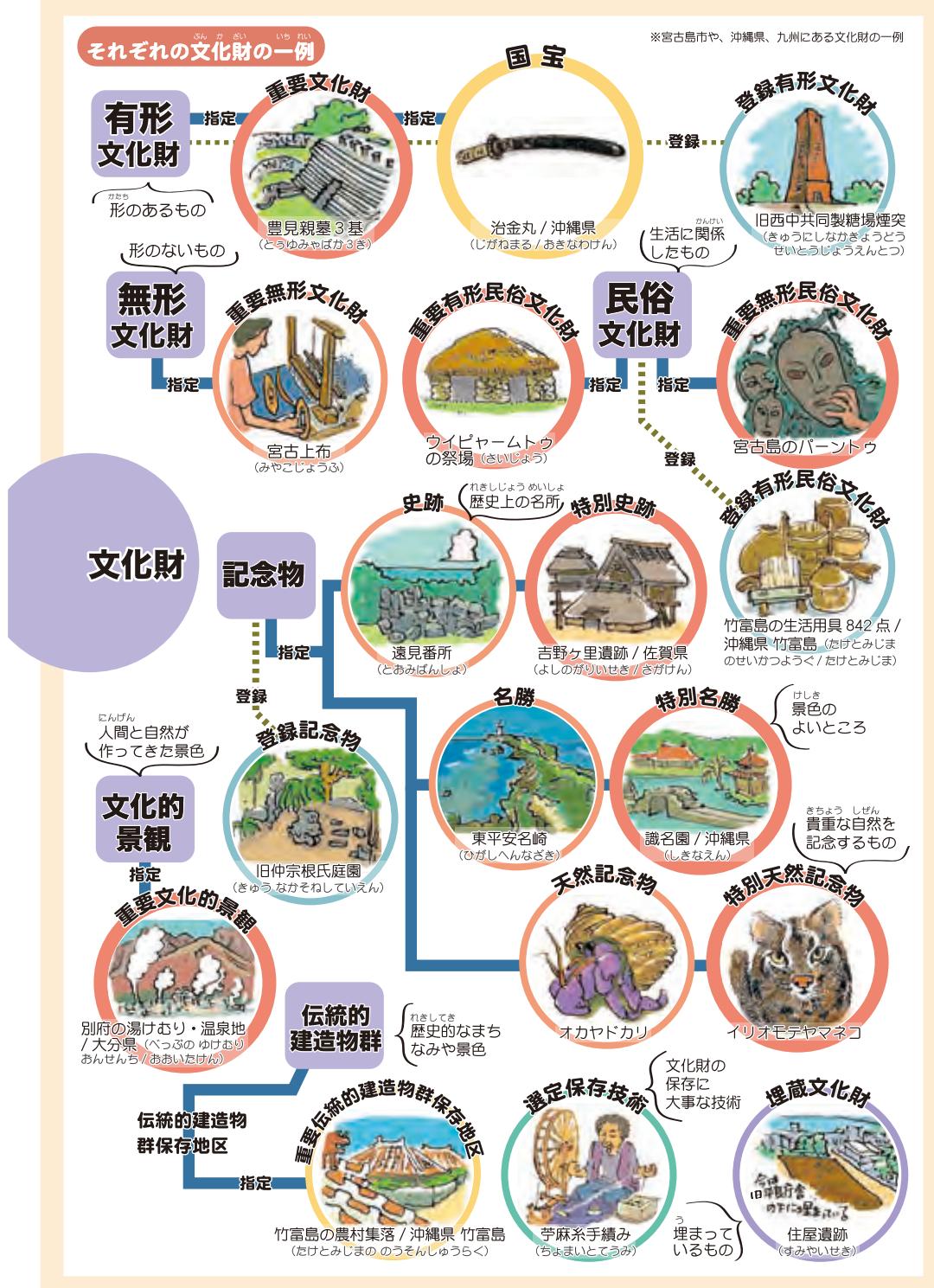
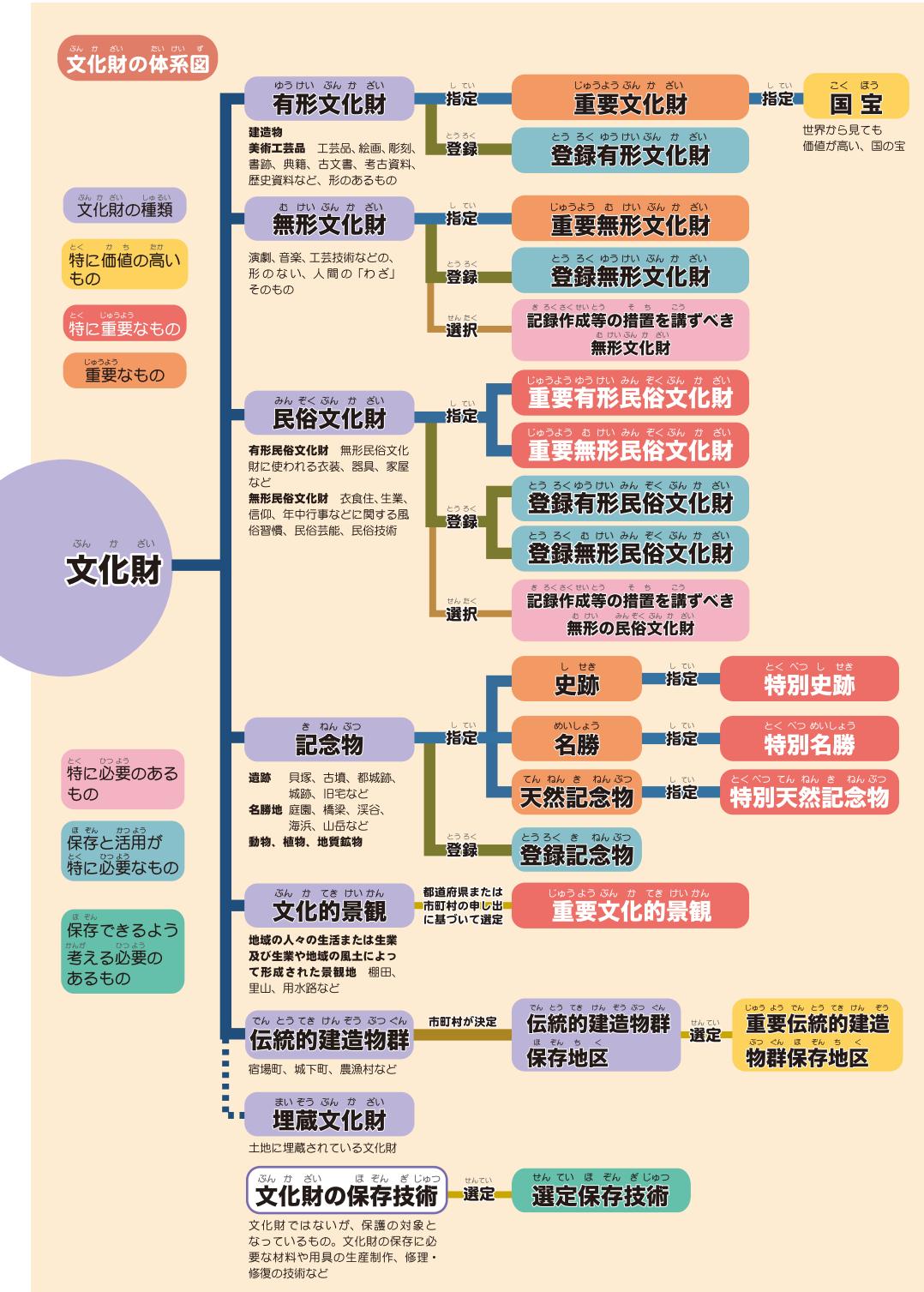
総合博物館は、1979(昭和54)年の

「平良市歴史民俗資料館」から始まり、

2005(平成17)年の市町村合併とともに

、現在の名に改称されました。





わたし ぶんかざい  
**私たちの文化財です**

たいせつ  
**大切にしましょう**

ぶんかざいきょか むだんげんじょうへんこう  
文化財を許可なく無断で現状変更する

ほうりつ きんし  
ことは法律で禁止されています。



昔のことや、自然のこと、いろんな人の考え方など、  
たくさんのこと教えてくれる大切なものです。

この冊子は非売品です (NOT FOR SALE)

## 宮古島市neo歴史文化ロード 綾道(四島・西辺コース)

発行 初版 2021(令和3)年 3月

改訂 2025(令和7)年10月

編集・発行 宮古島市教育委員会

〒906-8501沖縄県宮古島市平良字西里1140番地

TEL 0980-72-3764 FAX 0980-73-1976

イラスト・デザイン 山田 光